２年学年だより

発行日：令和８年 10 月 30 日（金）
発行者：横浜市立南高等学校附属中学校
学 校 長 ： 二 上　直 子　 N０．６

人と人とのつながりから

校長代理　海部 祐喜子

MINAMI

朝夕の風に秋の深まりを感じる季節となりました。本校の木々もすっかり秋模様となり、校庭や通学路には銀杏やどんぐりの実が落ちている様子が見られます。実りの秋は、自然の豊かさを感じるとともに、生徒の皆さんにとっても学習や部活動、学校行事などを通して積み重ねてきた努力が実を結ぶ季節です。

本校では現在、附属中学校２年生を中心に、NTT 東日本株式会社関係の皆様、給食提供事業者の皆様、横浜市の行政関係など数多くの皆様、そして地域でご協力くださる桜台花グループの皆様とともに、食品の残さから生まれる資源を活用して花を育て、その取組を GREEN×EXPO 2027 へとつなげていく活動に取り組んでいます。10 月には EGG として、多くの講師の方々から循環型の暮らしのことやウェルビーイングについて考える機会をいただきました。また、様々な分野で活躍される方々との交流を通して、仕事や生き方について学ぶキャリア教育も行いました。（既に多くのメディアにてご紹介いただいておりますが、詳しい内容については、後日学年だより等に掲載予定です。）

ウェルビーイングとは、それぞれの人が自分らしく幸せに生きることができていると感じられるよい状態のこと。そこには、心や体の健康だけでなく、人とのつながりや学びの充実も含まれるでしょう。今回の取組も、多くの方々とのつながりとご支援があってこそ実現しているものです。

本校の教育活動には多くの「人とのつながり」があります。２年生のイングリッシュキャンプでは、異なる文化や価値観に触れながら積極的にコミュニケーションを図ることの大切さを学びました。また、３年生のカナダ研修旅行では、現地の方々や仲間との交流を通して、多様な考え方を理解し、自分の視野を広げる貴重な経験を積むことができました。

生徒の皆さんには、人とのつながりを大切にしながら、自分の考えを発信し、相手の考えに耳を傾け、新しい価値を創造する人へと成長してほしいと願っています。誰かと協働することで生まれるアイデアや発見は、一人では到達できない可能性を切り拓きます。この秋の学びが、生徒の皆さんにとって未来の社会を創る当事者としての意識を育み、新たな価値を生み出す第一歩となることを期待しています。

～中学３年生　カナダ研修旅行から帰ってきた実行委員の[redacted]さんと[redacted]さんから～

実行委員長　[redacted]さん

私たち 13 期生は、「tomocore ～無限のカナダにさあいくぞ～」というスローガンのもと、カナダ研修旅行へ行ってきました。
現地で初めて英語での注文に挑戦したり、ホームステイを経験したりするなかで、自分自身の大きな成長や、たくさんの気付きを得ることができました。何より、カナダでの時間は本当に楽しかったです。14 期生・15 期生のみなさんは、研修旅行に向けて今から英単語の学習を始めておくときっと役に立ちます。本当に素晴らしい経験になるので、ぜひ楽しみにしていてください。

副実行委員長　[redacted]さん

I had many different experiences in Canada.　During my homestay, I immersed myself in their lifestyle and had very enriching experiences.
At Point Grey Secondary School, I learned about the differences between Canada and Japan. I want to use what I learned in Canada in my future.

楽しかったイングリッシュキャンプを振り返る！



最終日の9月30日（水）は、びっくりするくらいの快晴に。手作りタイダイTを着た生徒と津南の風景がバッチリ合っていました！Thank you 津南！！

９月２７日（日）から３０日（水）までの３泊４日、中２青学年は新潟津南に「イングリッシュキャンプ」に行ってきました。学級委員を含む２０名の実行委員を中心に、夏休み前からスローガンづくりやルール決めなど様々な準備に意欲的に取り組み、行事の成功に向けて学年全員で頑張ってきました。

当日は、４日間のうち２日間があいにくの天気となってしまいましたが、雨の中でもみんなの楽しそうな笑顔が多くの場面で見られたことが、とても印象的でした。

廊下に掲示している国語の授業で作成した短歌や報告文などを読むと、アクティビティだけでなく、部屋でみんなと過ごした何気ない時間なども、大切な思い出として残っていることも本当に嬉しく思います。この行事を通して、青学年がまた１つ成長したように感じました。

今回はイングリッシュキャンプの成功に向けてクラス・学年を引っ張ってくれたイングリッシュキャンプ実行委員の２人にこの行事を振り返ってもらいました。保護者の皆様、当日にむけての準備や様々なサポートなど本当にありがとうございました。

実行委員を務めた2年1組の[redacted]と[redacted]です。

イングリッシュキャンプまで様々な準備などをしてきました。しおりの作成や結団式や解団式などのセレモニー、他にも本番までの限られた時間の中で仕事を進めてきました。そのどれもが先生方や実行委員ではない人も含め、全員がいたからこそ協力してできたし、みんなで団結できたからこそ乗り越えられたと思います。

イングリッシュキャンプ本番では、みんな不安な部分もたくさんあったと思いますが、積極的に英語でコミュニケーションをとることで、よりよい思い出を自分からつくりあげようとしていたと思います。英語はもちろん、協調性や積極性、相手のことを考えて話すことの大切さを学ぶことができました。

イングリッシュキャンプで学んだこと、反省を生かして来年のカナダも全員で最高な研修旅行にしていきましょう！

実行委員を務めた2年2組の[redacted]と[redacted]です。

私（[redacted]）は、イングリッシュキャンプの横断幕のデザインを担当しました。何もない白紙の状態からデザインを考えるのはとても大変でした。何度も心が折れかけましたが、完成した横断幕を見た時は、ここまでがんばってきて本当に良かったなという達成感を得ることができました。だから、これからも難しい課題に取り組む時には、今回の経験を生かしてあきらめずにやり切りたいです！

私（[redacted]）はイングリッシュキャンプのしおりの持ち物を担当しました。皆さんが当日、忘れ物をして困る人がいなくなるよう頑張って作成しました。個人的にイングリッシュキャンプで特に思い出に残っているのはダンスパーティーです。思いっきり叫んで、思いっきり楽しむことができました。叫びすぎてクロージングセレモニーでは声が出ませんでした。



実行委員の10名と学級委員10名で記念にパシャリ。準備段階から一人ひとりが行事の成功のために本当に意欲的に取り組んでくれました。大感謝！

実行委員を務めた2年3組の[redacted]と[redacted]です。

私たちは、実行委員としてイングリッシュキャンプを最高のものにするために活動してきました。委員として学年全員が楽しめるイングリッシュキャンプにできるように、結団式の実演などでは、かなり盛り上がるように取り組みました。インストラクターのみなさんは初日からとてもエネルギッシュに私たちを迎えてくださいました。最初は戸惑った人もいたかもしれません。でも、私たちもその雰囲気に負けぬよう少しずついつも通りの元気を取り戻していきました。その成果は、最終日のダンスパーティーでの姿を見れば分かります。インストラクターの方々とも積極的に話せていて、この4日間でとことん楽しみ、成長できたと思います。

今回のキャンプで得たことを大切にしながら、来年のカナダ研修旅行に向けて英語のスキルをさらに磨き上げていこうと思います。

実行委員を務めた2年4組の[redacted]と[redacted]です。

私（[redacted]）は、実行委員会で準備が始まってから、よりイングリッシュキャンプが楽しみになって、他のメンバーと協力してバスレクを考えたり、解団式で話す原稿を書いたりと、とにかく学年のみんなの思い出に残るように取り組みました。本番当日は、思っていたよりも、ちゃんと英語でコミュニケーションをとることができました。行動班や部屋班のメンバーとも4日間で仲を深められたので良かったです。

私（[redacted]）は、たくさんの人にこのインキャンを楽しんでもらえるようイラストを交えたしおりをつくったり、みんなを盛り上げられるようなクロージングセレモニーになるよう尽力したりしました。この経験を来年のカナダへ、そして、その先の自分たちの成長へつなげていきましょう!!

実行委員を務めた2年5組の[redacted]と[redacted]です。

イングリッシュキャンプに行く前には、横断幕の作成、バスレク決め、しおりの作成などを行いました。特に横断幕の作成では、学年のみんなにも協力してもらい、完成しました。

イングリッシュキャンプ本番での4日間では、たくさんの出来事がありました。個性豊かで元気あふれるチームリーダーと出会ったり、カヤックやマシュマロ焼きなど普段あまり体験できないことをすることができました。また、ビーフシチューやとんかつなどの美味しいものをたくさん食べることができました。

イングリッシュキャンプでは、「間違えても伝えようとすること」の大切さを知り、インストラクターさんとの交流を通して多様な価値観に触れることができました。来年のカナダに向けて、英語や CALL の授業の時に、日本語を使わず英語で話すことができるように、引き続き頑張っていきたいです。




WE ARE 14期 青学年！！！